

群馬 ビルメンニュース

2014
No. 32
盛夏号



平成26年8月1日発行

一般社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会



群馬県健康福祉部食品安全局
衛生食品課長 下田 雅昭

建築物における 衛生的環境の 確保について

群馬県ビルメンテナンス協会の皆様には、本県の建築物に関する衛生管理行政の推進につきまして多大なるご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

協会員の皆様方には、日頃から建築物の管理に関し県民の生活衛生の向上と確保のために、専門的な技術の研究や各種講習会等の開催を通じ、技術と知識の研鑽に積極的に取り組まれておられるご努力に対して深く敬意を表します。

また、昨年度は協会の創立40周年、一般社団法人の登記と、新たなスタートを切った記念の年でありましたが、今年度は群馬県ビルメンテナンス協会の更なる発展に向けた一年となることをご期待するとともに、引き続き県の生活衛生行政へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、年度当初からの消費税率の引き上げや資材・燃料等の高騰によって業務コストが増加するなど、経済状況は依然として厳しい状態にあり、建築物の環境衛生では、建築物が大規模化、高機能化するなか、建築物の省エネ対策やコスト削減について皆様方へ求め

られる要望に対するご苦
労も多いのではないかと
ご推察いたします。

また、「富岡製糸場と

絹産業遺産群」が今年の6月に国内で18件目の世界遺産として登録され、全国的に注目を浴びております。これをきっかけとして、本県への関心が高まり、本県を訪れる方が増えれば県内の観光振興にも良い影響をもたらしてくれることと思います。そして、本県を訪れた方に快適に過ごしていただくためには、観光施設である建築物の衛生環境の確保が大変重要であると考えております。

建築物の衛生環境の確保には、給排水設備、空調設備、病害虫の防除、清掃管理等を適正に管理維持する必要があります。特に本県の主要な観光施設でもある温泉施設では、より一層の衛生環境の確保が求められるところですが、依然としてレジオネラ症の発生報告があります。ご存知のようにこの疾病の原因はレジオネラ属菌であり、循環式浴槽（温泉利用施設、ジャグジー）や冷却塔、加湿器などの設備の維持管理の不備によりレジオネラ属菌が繁殖し、その飛まつが人の呼吸器系に入ることによって病気が引き起こされるもので、時には重篤な肺炎を発症し死亡する例も報告されています。

建築物におけるレジオネラ症対策については、平成11年11月に厚生省生活衛生局長から「建築物等におけるレジオネラ症防止対策について」として通知されてはいますが、近年、患者の発生が増加していることから関連の設備を有する建築物では、十分な衛生環境を確保するための適切な維持管理が求められているところです。

最後に、建築物における衛生環境の確保の主体は、建築物の所有者、管理者ですが、行政や群馬県ビルメンテナンス協会を始めとする関係機関は、協力して建築物の衛生の向上のために取り組んでいくことが必要であると考えます。今後ともご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。



(一社) 群馬県ビルメンテナンス協会
会長 村田 茂行

本年5月28日の通常総会に於いて、会長をさせて頂くことになりました。平成4年より永年に亘り会長をさせて頂いております。次の世代にバトンタッチさせて頂くまで、精一杯頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

昨年は、社団法人群馬県ビルメンテナンス協会創立40周年の記念すべき年でした。多くの皆様にお世話になり、素晴らしい記念式典、祝賀会を開催することができました。改めて心より感謝申し上げます。

また、一般社団法人登記をし、さらに、社会的使命を果たすべく飛躍の年でもありました。今迄の社団法人の時と異なり、事業報告、決算報告は理事会で審議し承認して頂きました。決算に当たって新たな制約や決まりも多くあり、事務局も大変苦労したようです。お世話様でした。

今年度も、4月の、各委員会による、事業計画案の作成会議に始まり、通常総会では、事業計画、予算案を原案通り承認して頂き、その後の、懇親会では、ご来賓の皆様方、会員、賛助会員の皆様方一体となって、大いに盛り上がりました。

6月1日には、群馬県環境美化キャンペーンが実施され、会員皆様のご家族にも協力して頂き、赤城山に、協力団体として

一般社団法人として一年が経過しました

最大の150名余の方がご参集頂きボランティアに汗を流して頂きました。お疲れ様でした。

6月9日からは、シニアワークプログラムオフィスクリーニング講習会が始まりました。今年度は、県内5か所で実施致します。講習会終了後の面接会には、多くの会員の皆様に参加して頂く様にお願い致します。

7月3日には、初めて女性向けセミナーを開催し大いに好評を博しました。

7月29日には、ビル設備科講習会も始まりました。群馬県ビルメン会館で3か月に亘る講習会と、2級ボイラー技士等の資格にチャレンジ致します。これも面接会があります。よろしくお願い致します。

多くの皆様にお世話になり、今年度も、群馬県庁で障がい者清掃技能講習会が行われます。同時に支援学校での講習会も行われます。障がい者就労支援についてもご協力をお願い致します。

8月には、恒例の積算・見積研修会、9月より建築物衛生法に基づく、清掃作業従事者研修会、清掃作業従事者研修指導者講習会等も始まります。そして、年間120日余の講習会を実施致します。各講師の皆さんも大変頑張って頂いておりますが、講師の増員も心掛けていかななくてはならない課題です。是非、ご協力をお願い致します。

10月には、安全衛生大会が行われますが、本年4月に発表のあった、平成24年の収支率は170.9%でした、平成23年の125.3%から45.6ポイントの悪化です。全国集計も悪化し、料率の上昇にも繋がりがねません。毎月、労災報告をして頂いておりますが、協力会社を含めてご協力の程よろしくお願い致します。

今年度もよろしくお願い申し上げます。

平成26度 通常総会開催

(一社)群馬県ビルメンテナンス協会*群馬県ビルメンテナンス協同組合

平成26年5月28日（水）群馬県ビルメンテナンス会館において、平成26年度通常総会が開催された。

一般社団法人群馬県ビルメンテナンス協会

司会より総会に必要な定数の報告があり、村田茂行会長が議長となり審議に入った。

第1号議案	● 平成25年度事業報告書並びに収支決算書承認の件
第2号議案	● 平成25年度公益目的支出計画実施報告書承認の件
第3号議案	● 役員改選の件
第4号議案	● 基金返還の件

新役員として次の方が選任された。

会 長	村田 茂行(再任)	副会長	福田 雅之(再任)	理 事	高野 健 (再任)
理 事	山田 実 (再任)	理 事	山本 和夫(再任)	理 事	高橋 康男(新任)
理 事	加藤 幸雄(再任)	理 事	富岡 政明(再任)	監 事	福島 宏成(再任)

事務局より説明があり、議長が議場に謀ったところ全員異議なく承認された。

群馬県ビルメンテナンス協同組合

司会より総会に必要な定数の報告があり、定款に従い高橋康男理事長が議長となり審議に入った。

第1号議案	● 平成25年度事業報告書並びに収支決算書承認の件
第2号議案	● 平成26年度事業計画並びに収支予算案決定の件
第3号議案	● 役員一部選任の件

新役員として次の方が選任された。

理 事	佐藤 隆夫(新任)
-----	-----------

平成26年度 通常
総会 群馬県ビル
メンテナンス会館
にて



群馬県ビルメンテナンス政治連盟

同日総会が開催され、塚田且美理事長の議事進行により

第1号議案	● 平成25年度事業報告書並びに収支決算書承認の件
第2号議案	● 平成26年度事業計画並びに収支予算案決定の件

夫々審議され全員異議なく承認されました。

平成26年度 事業計画・協会行事

一般社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会の事業の目的・方向性

- ① 定款記載の目的を達成するための事業の推進
- ② 研修センターの有効活用を継続してすすめる
- ③ (公社)全国ビルメンテナンス協会との一層の連携を図り、事業を構築する
- ④ 関係諸官庁との情報交換を図る
- ⑤ 情報収集と会員への伝達

シニアワーク
プログラム事業
前橋会場





● 積算・見積研修会		平成26年 7月24日
● 設備研修会		平成26年 9月11日
● 清掃作業従事者研修会(前橋会場)		平成26年 9月17日
● 清掃作業従事者指導者講習会		平成26年10月 8日
● ビルクリーニング技能検定試験受験準備講習会		平成26年11月 5日
● 清掃作業従事者研修会(太田会場)		平成26年11月13日
● 病院清掃作業従事者研修会		平成27年 2月 5日
● 防除作業従事者研修会		平成27年 2月予定
● 貯水槽清掃作業従事者研修会		平成27年 2月予定
● シニアワークプログラム事業		
前橋会場		平成26年 6月 9日～ 6月19日
太田会場		平成26年 7月14日～ 7月25日
桐生会場		平成26年 8月18日～ 8月28日
藤岡会場		平成26年10月14日～10月24日
高崎会場		平成26年11月17日～11月28日
● ビル設備管理者育成講座 前橋産業技術専門校		平成26年 7月～10月(3ヶ月)
● 安全衛生大会		平成26年10月 6日(前橋テルサ)
● 春の環境美化月間 清掃活動の参加 (群馬県主催)赤城山大沼周辺		平成26年 6月 1日
● 厚生事業	ゴルフ大会	平成26年 6月10日(赤城国際CC) 平成26年11月11日(桐生CC)
	ボウリング大会	平成26年 9月12日
● 女性セミナー「野菜の力でアンチエイジング」		平成26年 7月 3日
● 安全パトロール		平成26年 7月22日 組合物件2か所

第11回群馬県障がい者技能競技会「ぐんまアビリンピック2013」




大雪で順延になったアビリンピックが平成26年3月9日(日)高崎市山名のポリテクセンターで開催された。当協会が担当したビルクリーニング競技会の2種目も無事に成功裡に終了した。選手の皆さんが真剣に取り組む、年々技能レベルのアップと取り組む心構えが一段と進化してきた。更に沢山の選手の参加と大会の盛り上がりを進めるために協会役員は取り組んでいきます。



「ビルクリーニングA」優秀者 競技科目を2課題

	金 賞	藤野 博功(館林高等特別支援学校)
	銀 賞	奈良原 康輝(館林高等特別支援学校)

「ビルクリーニングB」優秀者 競技科目を1課題

	金 賞	板橋 慶亮(渡良瀬養護学校)
	銀 賞	生須 義喜(前橋高等養護学校) 角田 勇磨(前橋高等養護学校)
	努力賞	峰岸 翔(前橋高等養護学校)

輝く
女性へビューティアップセミナー
「野菜の力でアンチエイジング」

平成26年7月3日、講師にシニア野菜ソムリエの長谷川恵理子先生をお迎えし、女性のビューティアップセミナー「野菜の力でアンチエイジング」を開催しました。月初めのお忙しい時にも関わらず20名もの女性社員の方たちが参加して下さいました。

露地野菜の生産者でもあり、ぐんま食育推進サポーター、ビューティセルフアドバイザー、シニア野菜ソムリエの資格を持つ長谷川恵理子先生。

01

緊張気味なので、まずは脳の体操で会場を和ませてから、セミナー開始。



02



初対面ですので、他社の女性社員さんと他己紹介。交流会のよう今後の仕事への励みにもなります。

04



03

潤いがあり、滑らかで張りや弾力があり、血色の好いお肌を作る食べ合わせを教えてくださいました。



4種類のトマトと2種類のトマトジュースを比べて、感想を言い合いました。自分がおいしいと思った好みを大切に。

美容に限らず、健康においては日々の積み重ねが大事ですし、即効性を求めてはいけません。今、食べている物が10年後の体、1年後のお肌を作っているとおっしゃっていました。長谷川先生より「皆さんそれぞれお持ち帰り頂くことがあって、良かったです。とても良い経験をさせて頂きありがとうございました。」と感想が寄せられました。



春の環境美化運動を終えて

青年部副幹事／土田 洋

今回も、赤城大沼という広い範囲にわたっての清掃活動でした。拾う前は、綺麗になっているのではないかと思うのですが、実際にごみ拾いをしていくと手の届かないところにごみが捨てられていて、意外にごみの量が多いものでした。

また、大沼には魚や鳥がたくさん生息していましたが、水の汚染が気になる所もあり、水の美化も進めていくべきだと感じられました。

今回参加して頂いた子供から大人までみんなで協力し、短時間ではありましたが隅々までごみを拾う事ができたことは、環境美化への意識が高まる良い機会になったのではないかと思います。この活動が多くの人に広まれば、豊かな自然を次世代に継承していくことができるでしょう。皆様には、この活動の素晴らしさを身近な人に伝えていただければ幸いです。

私は、今後も春の環境美化運動を続けると同時に、普段の生活でも環境の美化に目を向け、出来る事からコツコツと実践していきたいと思えます。

最後になりましたが、次回のご参加をお願いすると共に、たくさんの皆様のご参加に感謝を申し上げます。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



参加企業

オオラ美装(株)・(株)環境保全センター・群馬中央ビルサービス(株)・ケービックス(株)
JR高崎鉄道サービス(株)・太平ビルサービス(株)前橋支店・太陽ビルサービス(株)
テルウェル東日本(株)・東朋産業(株)・東洋ポリーズ(株)・(株)ビル代行 群馬支店
ファースト・ファシリティーズ群馬(株)・藤田テクノ(株)・大和メンテナンス(株)

環境美化運動に参加して

私は今回で3回目の参加となりました。天気恵まれ、いつもは少し肌寒いと感じましたが、今年は暑いくらいでした。赤城大沼を眺め自然を感じながらゴミ拾いをしていくと、普段デスクワークで疲れている体が癒されました。会社だけでなくご家族で参加されている方もおり、活気があってとても楽しんで参加することができました。このような機会があると自然と普段の生活からも意識を変えられると思うので、ぜひ多くの人に参加してもらいたいと思います。私もまた、来年の参加が楽しみです。

太平ビルサービス(株)前橋支店／福島 朱那

春の環境美化運動に参加して

毎年恒例となっております「春の環境美化運動」が、6月1日(日)に赤城山大沼周辺で行われ、当日は初夏を感じさせるようなさわやかな天候のなか、ビルメンテナンス協会会員企業総勢157名という大変多くの参加者と清掃活動を実施してきました。

私は今回で5回目の環境美化運動への参加となりましたが、実際に環境美化運動に参加して感じたことは、さまざまな種類のゴミが捨てられているということです。空き缶やタバコの吸い殻などの小さなものから、タイヤや大きな金属片・発砲スチロールなどの大きいものまで、参加者がゴミ拾いを終えた頃には集積場に大小様々なゴミが集められていました。

ゴミを捨ててしまった人は「これくらい構わないだろう」と軽い気持ちでゴミを捨ててしまったのだと思いますが、その一人ひとりの軽い気持ちがこの大量の様々なゴミに繋がったのだと思います。今後は更に活動の参加者を増やし、継続的に環境美化運動に参加していきたいと思います。

ファースト・ファシリティーズ群馬(株)／小島 孝明



おめでとう
ございます

ビルクリーニング技能士検定 合格者

ビルクリーニング技能士に合格して

ケービックス(株) / 町田 徹

ビルクリーニング技能士試験を通じて、日常の業務に必要な基礎知識の習得や、実際の業務における作業方法を学ぶ事ができ、自身にとって多くの収穫があったと思います。

今後、ビルクリーニング技能士の資格を取得したことによって、現場での業務がより安全性が増し、品質が上がってくると感じています。配属されてまもなく、基本的な知識が足りていなかった自身にとっては、貴重な機会を頂いたという形になりました。それを活かしていく為にも、ここで学んだ事を基盤にして、それぞれの現場でミスのない業務作りをしていきたいと思っております。各現場で品質を高め、業務の改善を行ってまいります。

ビルクリーニング技能士に合格する事ができたのも、講習を開催してくださり指導を行っていただいた協会の方々や、適切なアドバイスや指導をしてくださった会社の先輩方のお蔭であり本当に感謝をしております。この資格で得たことを十分に日々の業務で発揮し、努めていきたいと思っております。



ビルクリーニング技能士 合格について

太陽ビルサービス(株) / 淡路 城作

ビルクリーニング技能士資格取得するにあたり、多くの上司や先輩の指導及びビルメンテナンス協会の講習会等、多くの人に協力を頂き資格取得をする事ができました。

資格取得して多くの知識及び技術を学ぶ事ができて、これからの仕事に生かし、また日々の努力並びに沢山の経験を積み、ビルクリーニング技能士としての自覚を持ち、社会に貢献出来るように頑張っていきたいと思っております。

ビルクリーニング技能士資格取得にあたり私に携わって下さいましたの方々にお礼を申し上げビルクリーニング技能士資格取得の報告とさせていただきます。



ビルクリーニング技能士 合格について

ファースト・ファシリティーズ群馬(株) / 奈良 麻衣子

ビルクリーニング技能合格を知り、私自身、最初は信じられず何度も結果を見返しました。

今回、ビルクリーニング技能試験に挑戦し、合格できたのは会社や群馬県ビルメンテナンス協会の皆様、仲間の応援・協力があったからだと思っております。

皆様ありがとうございました。

技能については会社での講習を受け、ビルメンテナンス協会の2階をお借りして、基本を繰り返し自主練習しました。学科については過去問を解き、教科書を当日まで繰り返し読み、試験に臨みました。

ビルクリーニング技能士の資格を取得しただけでは終わらず、今まで勉強させて頂いた知識や技能を今後も日々の業務に活かしていきたいと思っております。



厚生事業報告

GBK杯 ゴルフ大会

優勝

高橋 弘史

(株)ビル・メン

2位 松下 涼一 東朋産業(株)

3位 福田 純也 東洋ポリーズ(株)



平成26年6月10日、恒例のゴルフ大会が赤城国際カントリークラブで開催されました。スタート時こそ霧が立ち込めておりましたが、天候も徐々に回復し、参加者20名で和気あいあいと楽しむことができました。

優勝は(株)ビル・メンの高橋さん、準優勝は東朋産業(株)の松下さん、三位は東洋ポリーズ(株)の福田さんでした。次回も楽しくプレーしましょう。大勢のご参加お待ちしております。

お知らせ

おめでとうございます

平成26年7月25日、公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会 定時総会において、当協会の講師 今井正美さんが「ビルクリーニング技能検定委員表彰」を受けました。

代表者の変更

太陽ビルサービス(株)	代表取締役社長 …… 佐藤 隆夫
平成警備(株)	代表取締役 …… 千木良 肇
日本ビル・メンテナンス(株)	代表取締役社長 …… 豆生田 信一

第14回 安全衛生大会の開催案内

開催日時	平成26年10月6日/14:00~
開催場所	前橋テルサ8F けやきの間/前橋市千代田町2-5-1

平成24年に続き2年連続で労働災害が増加しています。景気が上向き、業務が多忙になったという事で労働災害の増加につながっているのでしょうか。労働災害防止を進める上では、一人一人の自覚と認識に基づく取り組みが求められます。今一度、安全衛生教育のあり方など、見直しと徹底を求めたいと思います。上記のとおり安全衛生大会を開催いたしますので、会員企業、協力業者等、多勢の参加をお願いいたします。

また、優良安全衛生管理担当者、安全衛生標語、ヒヤリハット体験事例も募集しています。詳しくは(一社)群馬県ビルメンテナンス協会事務局までお問い合わせください。

特別寄稿

世界遺産登録決定 富岡製糸場と絹産業遺産群



世界遺産「富岡製糸場」富岡製糸場総合研究センター 所長／今井 幹夫

カタールのドーハで開かれたユネスコの世界遺産委員会において「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録されることが6月21日に決まりました。絹産業遺産群とは「荒船風穴(下仁田町)」、「高山社跡(藤岡市)」と「田島弥平旧宅(伊勢崎市)」ですが、ここでは富岡製糸場に焦点を当てて書きます。

明治政府が官営の製糸場を建てることを決めたのは明治3年2月でした。こんな早い時期になぜ製糸場を建てる必要があったのかというと、長い間、鎖国を続けていたわが国は西洋と比べ、産業や文化の面で著しく遅れていました。そこで政府は国を豊かにし、産業を盛んにすることに力を注いだのです。当時、輸出の王座は生糸でしたが座繰りという原始的な製法であるため、質の良い大量の生糸ができず、外国からも色々な苦情が寄せられていたのです。そこで政府は良質な生糸の大量生産を図るモデル工場として、フランス人の指導者と共にフランス式の製糸器械を導入して富岡製糸場を設立したのです。

新しい製糸技術を学ぶための工女を募集しましたが、なかなか集まりません。その理由は、「フランス人が工女の生血を取って飲む」などというデマが飛び交っていたのでした。それは彼らが好んでワインを飲む風習を知らなかったせいです。政府は半ば強制的に募集を進めました、その結果、北海道から九州までの工女が集まり、明治5年10月に操業を開始しました。生産された生糸はフランスに輸出しました。はじめは工女の技術が上達しないため輸出用の生糸の割合も低いものでしたが、やがて高級の生糸の生産比率も高まり官営期全体では黒字が計上されています。政府は目的が果たせたために生糸生産を永續できる三井家に明治26年に払い下げます。

三井家では生産を高めるため構内に第二工場を新築し、また名古屋と四日市に新工場を建て、できた生糸は全てアメリカに輸出しました。しかし名古屋と四日市の経営が思わしく、全ての製糸場を永續経営のできる原合名会社に譲りました。原合名会社は昭和13年まで経営した後、片倉工業に経営を委譲します。片倉工業は戦中の生糸輸出のできない時代や戦後の混乱期を乗り越えて最新式の製糸機械を導入しながら生産効率を高めてきましたが、化学繊維の普及や外国からの安い絹製品に押され、ついに昭和62年3月、115年間続いた生糸生産を中止したのです。歴代の経営者が永續主義を貫いたことを重く受け止めた社長は「売らない。貸さない。壊さない」という方針を立て平成17年まで自主管理を行ってきました。このような方針の下に全ての建造物群を保存したことが今回の世界遺産の登録に結び付いたと言えます。

編集後記

世界遺産登録を思う

待ちに待った瞬間のような気がした。群馬県の「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録された。めでたいし、うれしいことだ。私事だが社会人の第一歩が絹の撚糸会社であった。製品の一步前段階の絹を撚(よ)る会社である。絹の需要が薄れ、激しく衰退した。繁栄の繊維会社はほとんどなくなり、残った企業も原形をとどめていない。でも、一時代を創り上げた誇りは消えない。そんな中、この世界遺産登録の価値は永遠に残されるだろう。 事務局長／品川

【表紙の説明】上毛かるたより「縁起だるまの少林山」

高崎では、江戸時代から願いがかなった時に黒目を入れる「目無しだるま」が「福だるま」として盛んに作られるようになりました。毎年1月6・7日に少林山達磨寺で開かれる「高崎だるま市」は、多くの人出でにぎわいます。

発行／一般社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会 〒371-0855 群馬県前橋市問屋町1-8-6

【TEL】027-288-0551 【FAX】027-288-0550 【URL】<http://gunma-bma.or.jp/>

編集／青年部広報担当：山口吉典、武井信弘、佐藤祐二、登丸一雄、天田文江 印刷所／(株)ビーハーフ